

### 「燃やさないごみ」は危険を伴いながら手作業で選別

伊賀南部クリーンセンターでは、回収された全ての「燃やさないごみ」の中から発火原因となるごみを選別しています。手作業のため、ケガをする危険性や、使用済みマスク、ティッシュなどが混入していることもあり、新型コロナウイルスの感染リスクも伴います。またコロナ禍で在宅時間が増え、家庭から出るごみが

増えており、選別作業は今まで以上に時間や手間がかかります。ボタン電池のような小さいものもあるため、火災事故につながる全ての物を取り除くことは、非常に困難です。危険も伴い、選別費用もかかりますが、火災事故につながるごみの排出が後を絶たないため、選別作業を続けていかなければならない状況です。



スプレー缶  
カセットボンベ **436本**  
※穴あけしていないスプレー缶が82本も

今年1月に収集した  
「燃やさないごみ」45.9tの  
中に入っていました！

**ドン!**  
電池 **67.9kg**

**ライター  
274個**

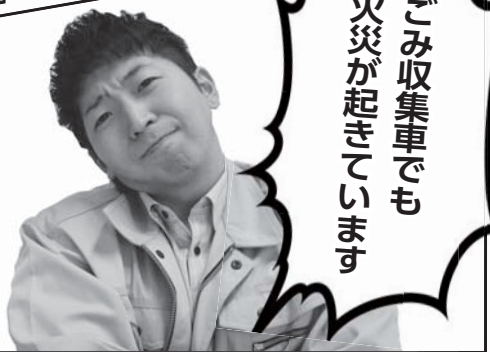
市民の皆さん……  
これが現状なんです



トホホ

#### ごみ収集車内から煙が！収集に大幅な遅れ

ごみ収集車での火災も起きています。右の写真は、「燃やさないごみ」の回収時に、ごみ収集車内で出火した時のもの。発見が早かったため、作業員にけがはありませんでしたが、収集に大幅な遅れが。燃え殻から、スプレー缶やライターなどが複数見つかりました。



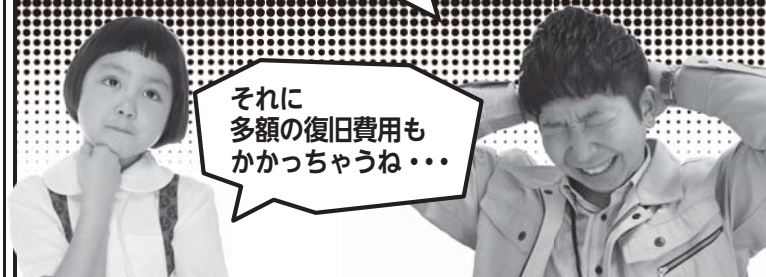
ごみ収集車でも  
火災が起きています



だから  
分別しないと！

「分別しない」自分勝手なで  
「自分も」「皆も」  
困るよ！になるんだね！

火災の被害が大きくなれば、ごみの受入やごみ  
処理ができなくなる！  
市民生活に大きな影響がでてしまう……



それに  
多額の復旧費用も  
かかっちゃうね……

ごみの分別お兄さん  
出し方のおさらいを！

### 全て「資源ごみ」の日！

スプレー缶の正しい出し方

「専用回収容器」へ  
ライターは使い切り  
電池は取り出して  
「専用かご」へ！

スプレー缶は使い切り  
穴をあけ、専用かごへ

ごみの分別  
お兄さんが熱演！

全日本  
ごみ分別  
選手権大会

ごみ分別お兄さん

ごみの分別お兄さんもオススメのごみ分別アプリ「さんあ〜る」。ごみの収集日程表や分別方法が、スマートフォンで簡単に確認でき、ごみの出し忘れ防止の通知機能も付いています。ぜひダウンロードを！



# 「スプレー缶」「電池」「ライター」は、「資源ごみ」の日に出して！ 分別しないと火災事故に

伊賀南部環境衛生組合 ☎ 53-1120 環境対策室 ☎ 63-7496



伊賀南部クリーンセンター(伊賀市奥鹿野)の火災  
で処理できなくなった粗大ごみ(令和元年11月)

#### 燃やさないごみに混入した電池で火災！処理がストップ

令和元年7月18日に「燃やさないごみ」から出火し、「燃やさないごみ」や「粗大ごみ」の処理施設が損傷しました。そのため、破砕などのごみ処理ができず、収集した粗大ごみなどをクリーンセンター敷地内に一時的に仮置きせざるを得ない状況になりました。

約800トンのごみ(約4カ月分の燃やさないごみと粗大ごみの量に相当)が山積みとなり、仮設の破砕機で破砕処理を行ったり、ごみ処理を外部へ委託しながら何とか処理を継続しました。

ごみの分別お兄さん  
環境対策室 森永 陸斗



がーん

えええ  
処理施設の復旧に  
15億4千万円の  
費用がかかったの

こんなに費用が  
かかるんです……

#### スプレー缶・電池・ライターが火災の原因に！

発生時期	内容	原因と考えられる混入物	被災状況・影響など
R1 7月	火災	リチウムイオン電池 (カメラやゲームなどの電池)	施設損傷により復旧費用15億4千万円 ごみの受入業務・処理の遅延
R1 9月	車両火災	スプレー缶	収集車両の損傷により収集業務の遅延
R2 12月	火災	カセットボンベ	ごみの受入業務・処理の遅延
R3 1月	火災	原因特定できず	ごみの受入業務・処理の遅延
R3 3月	火災	リチウムイオン電池	処理の遅延
R3 12月	火災	スプレー缶・灯油ポンプ	処理の遅延

### ごみを収集・受入できない……そんな最悪の事態にもなりかねない

令和元年7月に伊賀南部クリーンセンターのリサイクル施設で発生した火災で処理施設が損傷し、一部のごみを外部で処理していました。施設の復旧工事は、昨年9月末に完了。完全復旧には2年もかかり、多額の復旧費用や外部へ委託したごみ処理費用も必要となりました。

ごみの収集や受入を制限せざるを得なくなります。ごみ処理を継続するためには、皆さんの正しい分別が必要不可欠です。スプレー缶やライター、電池類など発火原因となる危険物は、ごみ収集車やクリーンセンターでの火災につながるため、「燃やすごみ」や「燃やさないごみ」へ絶対に入れないようにしてください。



伊賀南部環境衛生組合  
業務室長 高野 香二

◎平成21年2月に本格稼働した伊賀南部クリーンセンターでは、施設の立地に関する地域との協定により、操業期間を15年(令和6年1月末)と定めて、名張市と伊賀市青山地域のごみ処理を行っています。伊賀市と名張市は、操業期間の延長を行う方針を確認し、現在青山地域への説明を行っています。